

1. ごあいさつ

《2024 年安全報告書の発刊にあたって》



北大阪急行電鉄株式会社
代表取締役社長 奥野 雅弘

平素は当社の鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、当社は 2024 年 3 月 23 日に千里中央駅から北へ 2.5km 延伸し、「箕面船場阪大前駅」と「箕面萱野駅」の 2 つの駅を開業いたしました。延伸開業にあたり、関係機関や沿線地域の皆さまから多大なるご理解とご協力を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。この延伸開業を「第二の創業」と捉え、「安全・安心の提供」を引き続き行うべく、より良い安全管理体制を構築してまいります。

2023 年度の安全に対するハード面における施策としまして、都市間を結ぶ鉄道線路延伸全区間を高架化・地下線路構造といたしました。また、緑地公園駅・桃山台駅・千里中央駅と同様に新駅の全ホームに可動式ホームドアを整備するとともに、地震計・風速計・避雷針等の増設、箕面萱野駅構内分岐器に当社として初めてとなる電気融雪器を設置し減災設備も拡充しました。関西では 2023 年 1 月の大雪により、京阪神地区を中心とした鉄道各社が軒並み運休に見舞われるなど非常に大きな影響を受けました。当社でも新たに沿線に加わった箕面萱野近傍は、緑地公園駅から千里中央駅間に比べ冬季の気候特性が異なることが想定されます。この電気融雪器の導入により、凍結や積雪による分岐器（ポイント）の不転換を防止し、列車の安全かつスムーズな運行を確保しております。

さらに、車内防犯カメラを新たに搭載した増備車 9000 形 3 編成（30 両）を新造し、車内における防犯・セキュリティ強化を図りました。延伸開業に伴うこれらの施策により輸送力向上と輸送安全の確保を実現いたしました。

「安全・安心の提供」の実現には、設備の充実といったハード面における施策だけでなく、それを扱う「人」が非常に重要な役割を担うと考えています。そのため、ソフト面における施策としまして、当社では月に一度、各部門の管理者が出席する安全管理推進委員会において自社・他社問わず発生した事故やヒヤリ・ハット事象を経営トップおよび各管理者間で共有するほか、同事象を関係係員に共有することで同様の原因による事故を防ぐ取り組みを実施しております。

また、異常時対応力強化の点では実際の状況を想定した訓練を所轄の警察・消防と合同で過去から継続的に実施しております。2023 年度は延伸開業を踏まえ、既存の「桃山台駅」での車内テロ対応訓練に加えて、新駅でも火災を想定した避難誘導訓練を実施いたしました。このような取り組みにより、有事の際に関係係員が迅速・的確な避難誘導を行えるよう連携体制の強化を図っております。

当社では、1970 年の開業以来、有責事故ゼロを継続しております。今後とも安全輸送の絶対確保を最重要事項として、全役員・社員が一丸となって安全管理体制のさらなる向上に努めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に則り、2023 年度における輸送の安全確保のための当社の取り組み等を皆さまに広く知っていただくために作成しました。皆さまのご意見やご感想をいただければ幸いです。今後とも、当社の鉄道事業に対するご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。